

グリーンプラン・パートナーシップ事業(2号事業) 概要説明

1. 事業概要			
実施主体	宝塚市	実施場所	市役所本庁舎、消防本部・西消防署、東消防署、市立美座小学校
共同実施者	－	推薦者	－
2. 事業内容			
事業名称	二酸化炭素排出抑制対策事業「市役所、消防署、学校のエネルギー利用、CO ₂ 削減の可能性調査」		
検討対象設備等	エネルギーマネジメントシステム等		
26年度補助金交付希望額	9,947,000円		
事業内容	<p>市内に位置する下記の4施設について、高効率照明や高効率空調への更新、エネルギーマネジメントシステムの導入といった省エネルギー対策及び実施した場合における、コスト分析及びエネルギー起源CO₂削減効果分析を行う。施設によっては、省エネルギー設備のほか太陽光発電施設等の創エネルギー設備導入(または更新)についても検討する。エネルギーマネジメントシステムでは、各施設の電力使用量が市庁舎において一括で「見える化」でき、リアルタイムで市のホームページ等で「見せる化」するシステムの導入を検討する。</p>		
	対象施設	位置	建物面積
	市庁舎	宝塚市東洋町1番1号	27472.94 m ²
	消防本部・西消防署庁舎	宝塚市伊子志3丁目14番61号	2912.56 m ²
	消防本部 東消防署庁舎	宝塚市山本南2丁目5番1号	1180.91 m ²
宝塚市立美座小学校(予定)	宝塚市美座2丁目6番1号	5774m ²	施設の選定理由
			<p>事務事業の中で温室効果ガス排出量が最大。削減効果も大きいと予想。</p> <p>24時間利用される施設であるため効果が大きいと予想。</p> <p>また、24時間稼働の工場等への応用がききやすいと予想。</p> <p>小学校での電力の「見える化」実施は環境教育の材料としても活用可能。</p>
3. 設備導入予定等			
設備導入予定	対象施設における情報整理や現地調査を行ったのち、メーカーヒアリング等を通じて導入効果の高い設備の検討を行う。また、事業の費用対効果やエネルギー起源CO ₂ 削減量分析を通じて、実施効果の高い施設の抽出を行い、来年度の事業実現に向けた具体的な事業の実施計画を取りまとめる。		
副次的効果	燃料費高騰などの要因で光熱費が上昇している現状において、適切なFS調査・分析を行うことにより、重点的かつ効率的な創エネ・省エネ設備の導入が可能となり、長期的なランニングコストの低減が可能となる。		